

現行長期ビジョン相当

第1章 【計画の基本的事項】

- ・計画期間…令和5年度から8年度までの4年間
- ・「**県民共有の指針**」として、県民と課題を共有し、適切な役割分担のもと計画を推進
- ・人口減少対策の方向性を示した「愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を引き続き統合し、一体的に推進
- ・計画における県の役割を果たすための推進姿勢

【協働】

- ・県と国・市町、公と民、適切な役割分担による地域課題の解決
- ・公民連携による質の高い行政サービスの実現

《「運営」の精神的サポート、深化した「協働」へ》

【改革】

- ・行政のDXの推進等による職員の労働生産性の向上
- ・持続可能で安定した行財政基盤の構築
- ・政策立案型行政への一層の転換

《「挑戦」から具現性・実効性のある「改革」へ》

【創造】

- ・客観的エビデンスに基づく課題の適切な把握と資源・財源の重点配分
- ・適切な成果指標の評価による具体的成果の創出・見える化

《「新たな手法による行政運営を目指す「創造」》

第2章 【現状と課題】

- ・人口減少と人口構造の変化
- ・ライフスタイル・価値観の多様化
- ・経済のグローバル化等の影響と県内経済の将来展望
- ・増大するリスクに対する危機管理体制の見直し
- ・デジタル化の進展
- ・環境問題の深刻化



県民参加
の視点

- 将来世代(2040年に社会の担い手となる中高生)を対象としたアンケート
- 県民2,000人(18歳以上)アンケート
- 業界団体アンケート(80社)
- 各市町からの意見聴取

2040年頃の、本県が目指すべき将来像から
バックキャストして、今取り組むべきことを選定

第3章 【目指すべき愛媛の将来像】

基本理念: 愛のくに 愛顔あふれる愛媛県
(仮)“次世代により良い愛媛を引き継ぐために”

《 目指すべき将来像 》

誰もが希望するライフプランを実現でき、生涯を通じて心身ともに健康で豊かな人生を送れる持続可能な愛媛県

〔愛媛づくりの方向性〕

- 1 次世代を育み、誰もが自分らしく活躍できる人を惹きつける住み続けたい愛媛県 【人】
- 2 新技術や新産業による地域産業のイノベーションと国内外からの活力を取り込み、“稼ぐ力”と県民所得が向上した愛媛県 【経済】
- 3 県民の暮らしの安心安全と快適が自然と調和した持続可能な愛媛県 【暮らし】

⇒ 目指すべき将来像の達成に向け、成果指標を定め、政策・施策体系に反映
数値目標の検証により地域課題の状況を明確に診断

目指すべき将来像を実現するための
4年間の取組み

現行アクションプログラム相当

第4章 【政策横断的な視点】

- ・人口減少を見据えた視点
- ・コロナ禍で社会変容をもたらしたデジタル化の視点
- ・愛媛版SDGs推進の視点

○2040年の将来ビジョンの実現に向けた4年間の方向性と戦略

○3つの「愛媛づくりの方向性」を実現する、具体的政策・施策を数値目標とともに提示

第5章 【分野別計画】

政策・施策ごとに、現状と課題、取組みの基本方向、主要な取組み、成果指標等を記載し、県民に県政の進むべき方向性を共有

【3分野と政策体系】

1. 人

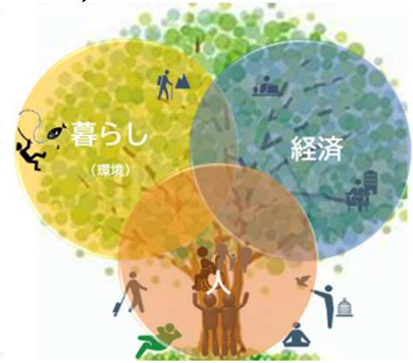
- ①人を惹きつける住み続けたい愛媛づくり
- ②誰もが健康で豊かな生活を送ることができる愛媛づくり
- ③次代を担う子どもたちへの教育の充実

2. 経済

- ④地域の稼ぐ力の向上による県民所得向上
- ⑤交流人口拡大による国内外からの活力の取り込み

3. 暮らし

- ⑥誰もが安心して暮らせる社会づくり
- ⑦地域の都市機能の維持・最適化
- ⑧県民の命を守る危機管理体制の充実
- ⑨環境と共生する社会の実現



知事公約の
具現化

第6章

エリア(東・中・南予)別構想

計画の着実な推進

政策・施策評価や財政状況、行政ニーズの変化などを踏まえて、重点化する施策を毎年度決定し、予算の重点化につなげていく。(PDCAサイクルの徹底)

【参考:前計画からの変更点】

(新計画)

- 長期ビジョンとアクションプログラムの統合
- 推進姿勢
「協働」・「改革」・「創造」
- 大分類:3分野
(人・経済・暮らし) ※「環境」・「暮らし」を統合
- トップダウンによる政策・施策体系構築
- バックキャストによる目標設定

(現行計画)

- 推進姿勢
「連携」・「挑戦」・「創造」
- 大分類:4分野
(産業・暮らし・人づくり・環境)
- ボトムアップによる政策・施策体系
- フォアキャストによる目標設定